

# 五感で学ぶ食育ーこれだけは知っておきたいことー

< 丹波消費者団体連絡協議会 >

丹波地域

代表：荻野 美代子

<p>目的</p>	<p>「都会に近い田舎」丹波地域は、豊かな自然環境や農産物に恵まれ、美しい田園空間を有している。しかしながら、少子高齢化や若者の流出による集落の沈滞という問題を抱え、さらに、次代を担う子どもたちには自己達成感の低い子が多い現状がある。</p> <p>地域では、核家族、共働きの家庭が増える中、親が忙しく、子どもに達成感を味あわせる体験をさせる余裕がなく、また、地元の食材を活かした伝統的な料理を若い世代に伝えていくことも難しくなっている。</p> <p>こうした中、祖父母世代が食育サポーターとなり、親子が参加する食育事業を開催し、地元食材による伝統的料理をすることにより、子ども自身に「達成感」を味あわせるとともに、丹波地域の食材の良さを広め、伝統の料理を若い世代に伝えることで地域の活性化を図っていく。</p>	
<p>内容</p>	<p>第1回 平成21年12月2日～3日 久下小学校（丹波市山南町） 久下幼稚園園児・保護者 食育サポーター19名、園児35名、保護者13名参加 子ども料理教室：「地産の米、野菜を使って伝統料理を作る」</p> <p>第2回 平成21年12月24日～25日 四季の森生涯学習センター（篠山市網掛） 味間幼稚園園児・保護者 食育サポーター20名、園児22名、保護者5名参加 講演会「もしもに役立つ日々の知恵ー安全はキッチンからー」 40名参加 子ども料理教室：「おせち料理を作ろう」</p>	
<p>地域</p>	<p>丹波市山南町久下小学校区 篠山市味間小学校区</p>	
<p>事業の効果</p>	<p>子ども料理教室は、参加した子どもたちにとって「自分でやった」という自信を持つ機会になり、家に帰っても親と一緒に料理を作ろうとするなど積極性が大きく現れた。また、保護者にとっても、子どもの体験する姿を見て、家庭における子育ての一つの参考とすることができたなどの意見が寄せられた。</p> <p>また、「おせち料理」については、ふだんは意識しなかった「いわれ」などを改めて見直すとともに、地元食材の良さを見直すきっかけとなり、参加者にとっても地域の活性化に取り組む意欲が生まれた。</p> <p>さらに、丹波消費者団体連絡協議会は、その構成員が丹波市内に大きく偏り、篠山市における活動の弱体化が最大の課題になっていた。今回、主要行事を篠山市で実施したことにより市内における協議会活動のPRに効果があった。</p> <p>※篠山市内の参加者 食育サポーター講座5人参加（3人修了）、講演会参加者18人 （全体参加者 食育サポーター講座20人参加（7人修了）講演会参加者40人）</p>	
<p>事業経過</p>	<p>7月18日 7月21日 8月18日 10月16日 12月2・3日 12月24・25日 2月20日</p>	<p>役員会で実施地区協議（1カ所は味間幼稚園で決定、時期は講師と調整） 講師打合せ（坂本キッチンスタジオ：神戸市東灘区） 役員会で実施方法協議（講師依頼は味間幼稚園で決定） 役員会で実施方法協議（第1回、第2回の日時、場所を決定） 第1回事業実施 第2回事業実施 事業評価（食育サポーター修了証授与）</p>



第1回 子ども料理教室



第1回 子ども料理教室



第2回 講演会



第2回 こども料理教室

<p>協働先</p>	<p>事業の対象となった幼稚園においては、参加する園児の募集やグループ分け、各自の特徴の把握のほか保護者との調整など事前準備の段階では十分な協力が得られたが、講師の都合にあわせた事業実施日には他の行事と重なることもあって、やや低調であった。</p> <p>また、いずみ会などへの呼びかけでは、個人的な参加は見られたものの団体としての協働は困難であった。</p>	
<p>今後の展望</p>	<p>食育サポーターは、新規の修了生は4名（既修了者3名）であったが、参加者全員にとって「子ども料理教室」の準備や実施手順の再確認が行えるなどノウハウの蓄積を行うことができた。</p> <p>また、食育サポーターのみで実施した「子ども料理教室」についても、これまでの経験を活かした事業とすることができ、その実施状況について講師からの講評も受けるなど、ノウハウの蓄積の向上ができた。</p> <p>反省点としては、講師の日程上やむを得ないことではあったが、第2回の実施日がクリスマスとなったことから各家庭での行事が優先される傾向になったことは残念であった。</p> <p>今後の工夫としては、市域全体といった広い範囲を対象として参加者募集を行うよりは、小学校区程度の単位で、普段の生活でも顔の見える関係者が集まる範囲での実施によって、より参加しやすい事業にしていこうとも検討したい。</p> <p>H18から実施してきた食育事業は、丹波消費者団体連絡協議会を構成する全地区での事業が完了したことから、今後は、各地区が主体となって事業を実施し、協議会は食育サポーターの募集などで地区の活動を支援する形式で継続実施していきたい。</p> <p>また、継続にあたっては、これまでになかった児童（小学校の中・高学年）も対象とした実施についても検討したい。</p>	
<p>事業経費</p>	<p>経費総額（うち助成金）</p>	<p>129,212円（うち助成金63,000円）</p>
<p>主な活動項目（上位3項目）</p>	<p>活動等項目</p>	<p>支出額（見込額）</p>
	<p>料理教室・講演会の開催費</p>	<p>82,218円</p>
	<p>料理教室食材費</p>	<p>46,994円</p>
		<p>円</p>